



# 世界遺産からのメッセージ

10月1日～10月11日 主催：世界遺産の会



熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたことを機に、絵画コンクール「大好き熊野古道」作品展と「世界遺産」パネル展を開催しました。また、期間中10月2日には日本ユネスコ協会の岩本由美子さんと「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会の小野真由美さんの講演会も行われました。

## 姫まつフォーラムを開催しました 9月26日(日)



主催：姫街道の松並木を考える会  
「姫街道の松並木」と地域をめぐる様々な課題をきっかけに今後のあり方について考えています。この日は松並木の歴史や健康診断について専門家の方に講義をしていただきました。また、新看板のデザインについて人気投票も実施しました。(葵西会館にて)



## 展示スペースを提供しています

まちづくり関係団体を中心にまちづくりの活動や成果をひろく広めるための展示スペースとして、センターの1階サロンを無料で貸出しています。希望団体には、概ね2週間程度を目安にお願いしています。展示の時期やスペース等の調整が必要ですので、希望する団体は、まちづくりセンターまでご相談下さい。

## お月見コンサートを開催しました

9月25日(土) フルーツパークにて  
主催：都田・滝沢・鷲沢ふるさと夢Mi隊  
定住人口が減少している地域の活性化を求め、中秋の名月に合わせ、お月見コンサートを開催しました。ピアノ、バイオリン、篠笛など、地域の演奏家が集まり音楽を奏でました。400人を超える参加者があり、子供たちには地域の風習の「お月見どろぼう」と題し、お菓子が配られました。



19:00～

## センターからのイベント案内

### 第29回 1月20日(木) 「自分で作り、楽しむ炭焼き！」

達人...佐野静夫さん 色々な材料を使って、環境や生活にやさしさを感じさせてくれる炭の作り方を紹介します。

### 第30回 2月10日(木) 「浜松の新交通システムについて考えよう」

達人...内田宏康さん 浜松の新しい交通システムについて、世界の事例や模型などを題材に考えましょう。模型など関連展示は1/15～2/28までまちづくりセンター(1階サロン)で行っています。

## センターが後援・協力しているイベントやまちづくり関係団体のイベントのご案内します

### 春を待つ都田ウォーキング：就職支援セミナー(農業)：観光ボランティアガイド養成講座：がんこ祭り～第5回よさこい祭

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| ふるさとを歩きながらふるさとづくりについて考え、語り合みましょう。<br>日時：1月30日(日) 10:00～13:00<br>集合場所：カコト・ロコ(都田町)コース：カクト・ロコ～都田川堰堤～新木公民館<br>持ち物：お弁当、水筒<br>主催：都田・鷲沢・滝沢ふるさと夢Mi隊<br>TEL 053-428-2694 | ・農業の生産だけでなく、企画、加工、販売等様々な仕事を活躍の場として考えましょう。<br>・てみませんか?<br>日時：1月12日(水)～13日(木) 10:00～16:00<br>場所：浜松まちづくりセンター<br>講師：農業経営者、キャリアカレッジ、県職員など多数<br>定員：20名(先着順)<br>主催：静岡県雇用推進室<br>TEL 054-221-2573 | ・従来の観光客に、また市民の皆様にも「もてなしの心」で浜松を紹介するガイドの養成講座に参加しませんか?<br>日時：1/17,24,31,2/7,14 10:00～12:00<br>場所：浜松まちづくりセンター<br>対象：講座終了後ガイドとして活動可能な方<br>内容：ガイドの心構え、浜松の名所・歴史等<br>定員：60名(先着順)申し込み要<br>主催：浜松観光ボランティアガイドの会<br>TEL 053-456-1303 | ・日本全国に広がりつつある鳴子踊り「よさこい」を通じ、地域の活性化、他地域との交流、若者文化の発信などを目指し開催します。今年度は約100チーム(3000人)の参加と、観客動員60,000人を目指しています。<br>日時：3月19日(土)～20日(日)<br>場所：鍛冶町大通り(20日のみ)、駅前広場キトラ、ザザシティ中央広場、ギャラリーモール、有楽街、モール街等<br>主催：浜松よさこい実行委員会 |
|---|--|---|---|

### わたしが出会った「世界遺産」写真展

国内外の世界遺産を訪れ、その自然、遺跡、人物などに「！」を感じて写した、貴方の「とっておきの写真」を募集し、展示します。  
募集期間：2月1日～3月31日(まちづくりセンター窓口でも受付可)  
展示期間：4月13日～4月25日  
展示場所：浜松まちづくりセンター 1階サロン  
主催：世界遺産の会  
詳しくはセンター等備付のチラシをご覧ください。

### 建築WEEK in 浜松 2005

「建築展」at 旧浜松銀行協会(浜松市栄町)  
期間：2月5日(土)～13日(日)10:00～17:00  
展示内容：建築作品展、中村與資平展、児童作品展、ステンドグラス展  
期間中のイベント：  
6日(日)10:00～ 講演「銀行協会」(建築の見地から)  
11日(金)14:00～ 講演「浜松銀行協会の沿革」  
12日(土)14:00～ 「銀行協会探検ツアー」(小学生OK)

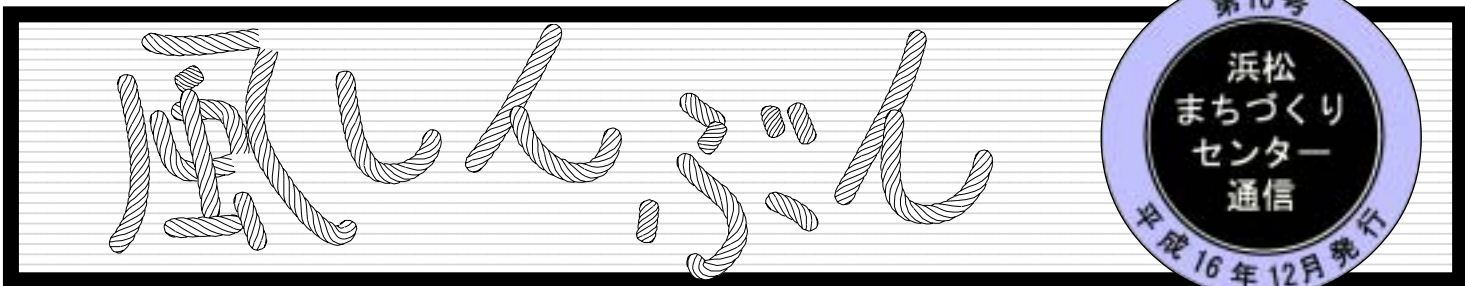
### 浜松まちづくりセンター通信 「はままつ風しんぶん」

#### 発行：浜松まちづくりセンター(平成16年12月)

〒430-0915 浜松市東田町16番地  
(財)浜松まちづくり公社  
TEL：053-457-2616 FAX：053-457-2617  
E-Mail: h-m-c@msi.biglobe.ne.jp  
http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/lifeindex/partnership/city/hudc/



[編集後記]8月中旬から9月中旬にかけて、皇學館大学(三重県)の学生さんの瀧尾和歌君(浜松市出身)がインターンシップでセンターにやってきました。見かけによらず(!?)大変意欲的で、不慣れな仕事や雑用でも「何でもやってみよう」という意気込みが感じられ、慢性的人手不足のセンターでは大いに助けてもらいました。嗚呼、若いって本当に素晴らしい・・・。(鈴木)



## 災害時にうごけるボランティア講座

～防災・ボランティア 地域の中であなたの力を活かしましょう～



阪神淡路大震災から10年が過ぎようとしています。10月には新潟中越地震が起こり、日本中が震災の恐ろしさを改めて実感したことと思います。近年起こった災害では、全国のボランティアや多くの地域住民がボランティアとして活動してきました。災害時を意識して、日頃から自分が住む地域を見つめ直し備えをしていくことは、日々の「誰もが安心して暮らせるまち」づくりにつながっていくことと考えます。

まちづくりセンターでは、浜松市社会福祉協議会、災害ボランティアコーディネーターはままつ、そして浜松市と協働し、「はままつ災害まちづくりパートナー会議」という組織を立ち上げ、災害時に必要になる情報やノウハウを学び、「災害時にうごける知力・地力」をもつ人づくりをすすめています。

### 9月1日 第2回講座「ボランティアセンター設置訓練」(豊岡小学校校庭)

三方原地区総合防災訓練の場に参加し、災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。



受付が済んだボランティアは活動ニーズ掲示板を見て、自分ができるorしたい活動を選択します。(今回は訓練なので、「福祉体験」と「災害時図上訓練(DIG)」をニーズと想定しました。)

福祉体験では車イスの介助とシニア体験を行いました。



災害時図上訓練(DIG)では、地震が起こり、さらに火災が発生した場合を想定し、避難所である学校までの避難経路を地図上で確認しました。「あれ、いつも通っている道が火事で通れない・・・」なんてことも。

### 11月6日 第3回講座「避難所でのボランティア」(東小学校体育館)

災害ボランティアセンターや避難所の実態について学んだ後、避難所を再現したセットで「はままつ避難所物語」と題して、避難所で起こり得る様々な問題を劇仕立てにして見ていただき、解決方法について参加者がいっしょに議論し考えました。



避難所の雰囲気仕立てました。

「仮設トイレが汚いぞ!」、「アレルギー対応食が必要だ!」、「ペットがうるさい!」など、被災者たちの要望に対し、ボランティアあるいは被災者自身がどのように対応していくべきか考えました。避難所でリーダーシップをとれる人物が必要であること、被災者同士のコミュニケーションの重要性などが議論されました。

### 12月11日 第4回講座(可美公園総合センター)

#### 第1部：特別講演会『「減災」の要は地域連携～地域防災「官から市民へ」～』 第2部：緊急企画「新潟中越地震ボランティア報告会」



第1部では、福和伸夫先生(左・名古屋大学大学院教授)に特別講演をしていただきました。近い将来、東南海地震は間違いなく起こること、それに備えた建物の耐震補強が最も効果的な予防であることや大災害時には「地域住民で助け合う」しか方法がないなどをお話いただきました。



第2部では、緊急企画として新潟中越地震後、現地でボランティア活動を行った方たちの報告会を行いました。ボランティアセンターの様子や被災者と積極的にコミュニケーションをとることの大切さなど、マスコミの報道ではうかがい知れないお話を聞かせていただきました。

湖西市の前田さん(左)は東小千谷中での炊き出しや小千谷ボランティアセンターで、保健師の本間さん(中)は避難所の小千谷市総合体育館で、社協の前嶋さん(右)は十日町市のボランティアセンターでそれぞれ活動を行いました。

# 第1回「まちがびっくり箱だぁ！」 浜松イーストタウンアートフェスタ 11月6日～7日

まちは人を楽しく、驚かせる「びっくり箱」。このまちに人、作品、音楽があふれることで、思いがけない発見や新たな出会いに遭遇する。そして、みんながもっともっとまちを好きになる・・・。

まちの活性化を望むイーストタウン(東地区)の住民とイベントをしたいクリエイターやミュージシャンが出会い、何か楽しいことができないかと話し合ったことがきっかけで、「まちはびっくり箱だぁ！実行委員会」を結成。まちづくりセンターも全面的にバックアップしてイベントを盛り上げました。



アクト通りをメイン会場にアクセサリ、インテリア、家具、陶器、衣類、影絵など、クリエイターにより様々なものが展示・販売されていました。



メインステージだけでなく、路上や近隣店舗内、軒先などでミュージシャンが音楽を奏でました。地域情報センターでは映画上映や読み聞かせなども行われました。

## 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインによるまちづくり

浜松市ではすべての人が暮らしやすいまちを目指して、ユニバーサルデザイン(以下、UD)によるまちづくりを推進しています。一昨年のUD条例策定に関するワークショップにつづき、まちづくりセンターでは以下の2つの事業が行われました。

### 身体障害者用駐車場利用ワークショップ

9/18、10/2、10/16(全3回)  
身体障害者用駐車場の「マナー違反」の利用者が絶えません。その場所を本当に利用したい人が利用できない・・・こんなことがないように、「心のUD」でみんなが気持ちよく利用できる駐車場を目指して、浜松市の「心のUDふれあい事業」の一環で市民ワークショップを開催しました。



WSでは実際に車イス利用者が車を乗り降りする状況を確認したり、表示方法などいろいろな工夫をしている事例を確認した後、最終回では整備、情報、啓発方法などについて提案をまとめました。

### 学校教育の総合学習も応援しています！

学校教育の総合学習で取り上げられるユニバーサルデザイン学習について、多くの子どもたちがセンターを訪れ、施設の見学や体験学習、障害者や高齢者との意見交換などをして学んでいます。



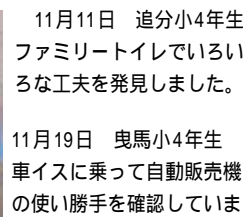
9月16日 和田小5年生 アクト通りの音声誘導装置付き触知図を見学しています。



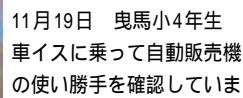
10月8日 葵西小4年生 白杖を使って階段を降りる体験をしています。



8月26日 東小4年生 盲導犬を利用している目の不自由な方のお話を聞きました。



11月11日 追分小4年生 ファミリートイレでいろいろな工夫を発見しました。



11月19日 曳馬小4年生 車イスに乗って自動販売機の使い勝手を確認しています。

### UD市民リーダー養成講座

9/25、10/23、10/30、11/13、11/28、12/12(全6回)  
昨年に引き続き、市と共に市民の力を活用してUDを進めていくため、市民リーダーとして必要な知識・経験習得を目指して養成講座を開催しました。講座を修了した12名が「市民リーダー」として浜松市に認定されました。



みなさん真剣なまなざしで講義を聞き入っています。最終回では3つのグループにわかれ、UDに関する自主研究の成果を発表しました。

### 新・野口公園について考えています！

東小6年生は自分たちの学校の隣にできる新・野口公園の整備計画について総合学習の時間を活用して考えています。この取り組みは一昨年、昨年の6年生に引き続き、今年で3代目になります。



11月29日 東小6年生  
地元の関係者や市内各種団体、保護者などを招き、野口公園の整備計画について提案・発表しました。公園をウォーターゾーン、シニアゾーン、キッズゾーン、ジュニアゾーン、ピオトープゾーンの5つに分け、それぞれ利用者に配慮した工夫を凝らして設計しました。来場者からは「各ゾーン同士の連携が今後の課題ではないか」などと声が挙がりました。



サルのユニバー

## 第25回 9月23日(木)

### 「青空偏光と偏光虹の研究」

今回の達人...中桶悟光さん(日本分光学会)

地球を取り巻く大気環境が年々破壊されていく中、大気に目を向け、偏光写真を撮り続ける活動について紹介しました。偏光の出方を計測することにより空気のきれいさや水蒸気量などがわかるという独自の発見についてもお話いただきました。

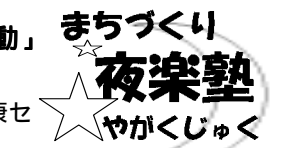


## 第27回 11月18日(木)

### 「浜松における8020(ハマルニマル)運動」

今回の達人...佐野哲男さん(天王町) 岩田さち子さん(歯の健康センター)

「80歳になっても20本、自分の歯を保ちましょう」という8020運動を地域に広めている活動や歯のお手入れについて紹介しました。虫歯の予防には歯磨きも大切だが、それよりも甘いものをダラダラと食べることがないように、規則正しい食生活を送ることが重要であることなどをお話いただきました。



まちづくり夜楽塾 やがくじゅく

## 第26回 10月21日(木)

### 「昭和40年代からの市民参加による『まちづくり』の歴史」

今回の達人...古谷伸子さん(寺脇町(三鷹市に22年間在住)) 進藤豊さん(三鷹市職員)

昭和40年代から進められてきた三鷹市における市民参加のまちづくりについて紹介しました。地域のみなが集まり様々な活動を行う拠点である7つのコミュニティセンターや住民協議会を日本国内に先駆けて設置し、地域の問題を自分たちで考え、解決してきた経緯についてお話いただきました。



## 第28回 12月9日(木)

### 「グリーンデータマップをつくらう！」

今回の達人...塚本恭子さん(NPO法人グリーンデータバンク)

街路樹や森、庭木、雑草まで含めて、地域の植物相を調査・記録することにより、自分たちのまちの魅力について再発見しようという活動について紹介しました。まずは、普通の道や少し遠回りしたところにどんな植物があるのかを図鑑を使って調べてみることから始めてみようなどお話いただきました。



## 歴史のある建物やまちなみについて考えています

まちづくりセンターは、NPO法人・日本都市計画家協会浜松支部と連携し、地域に残された歴史のある建物やまちなみについて調査・研究し、保存や利活用のあり方について考えています。

### 笠井の歴史とまちなみを語る会

9月4日(笠井公民館及びその周辺にて)  
「遠州綿業の歴史と笠井」について講義、まちなみ調査の概要の説明の後、意見交換を行いました。その後、まちあるきに出かけ旧笠井郵便局やこうじやの建物などを見学しました。



笠井街道沿いには今でも古いまちなみが残されています。

### 旧銀行協会の価値と利活用 緊急フォーラム(第2弾)

10月10日(旧浜松銀行協会にて)  
この建物の歴史的見地や家具・調度品の特徴、熊本市の歴史的建造物の利活用のしくみなどを参考に今後の方向性について考えるフォーラムを開催しました。この建物は11月1日に譲渡式を経て正式に浜松市に譲渡されました。



富士川一裕さん(左・熊本まちなみトラスト)から熊本の事例、桧森隆一さん(右・ヤマハ)から家具の特徴についてお話いただきました。

## まちづくり人材育成講座

昨年度に引き続き、まちづくり人材育成講座を行っています。各回、前半は全体講座、後半は5つのグループによる自主研究を行っています。観光のまちづくり 地域コミュニティ 団地再生術 中心市街地活性化 起業と企業文化によるまちづくりの5つのグループの研究成果は、10月23日に中間発表会を行いました。3月のセンター祭の場では最終発表を行う予定です。

- <全体講座の実施状況>
- 8/21 土地利用に関する3つの条例と住民協議によるまちづくり
- 9/25 市民協働の状況及び課題等について
- 10/23 中心市街地の活性化～都市再生～ (講師：浜松市中心市街地活性化事務局 河合勇始さん)
- 11/27 市町村合併と政令指定都市へ向けての取り組み (講師：浜松市政令指定都市推進課 岩井正次さん)
- 12/25 浜松市の環境行政(環境基本計画について) (講師：浜松市環境企画課 古橋廣一さん)

### 視察・研修にお越しいただきました！

他市町村をはじめ、多くのみなさんが浜松まちづくりセンターを視察・研修などで訪れてくださいました。またのお越しをお待ちしています。

- 7/26 愛知大学 9/2 国土交通省 9/22 都田地区(施設めぐり) 9/27 横須賀市逸見行政センター
- 10/7 いわき市 10/7 焼津市区画整理事務所
- 11/11 旭川市 12/18 岐阜県洞戸村

## 新たに加わった「まちづくり関係団体」を紹介します！

(平成16年12月28日現在)

| 認定No. | 団体名               | まちづくり活動の分野        | 紹介  |
|-------|-------------------|-------------------|---|
| 113   | 静岡県介護福祉士会         | 福祉                | 介護福祉の専門職集団として介護の技術の向上や福祉の発展のために、介護に関する知識や技術の普及を図り、福祉の増進に寄与する。         |
| 114   | シーン・ボイスはままつ       | 福祉・教育             | 視覚障害者と共に映画を楽しむために副音声作りをしています。   |
| 115   | NPO法人 はままつフロイデ合唱団 | 文化                | 第九の合唱練習や演奏会を通し、音楽文化の普及を図り、文化、芸術のかおり高いまちづくりのための活動。                     |
| 116   | 静岡コンチネンス学習会       | まちづくり             | すべての人が気持ちよく排泄のできる社会づくりをめざして活動することを目的としています。                           |
| 117   | 観光のまちづくりネットワーク    | 観光                | 観光都市浜松をアピールし、浜松を訪れた人にわかりやすい案内と楽しめるまちを目指し、中心市街地の活性化にも寄与する観光のまちづくりをめざす。 |
| 118   | ともづなの会            | コミュニティ            | 平成6年～14年の「浜松市女性団体育成推進委員」の経験を生かして、男女共同参画社会を推進している。                     |
| 119   | NPO法人 グリーンデータバンク  | まちづくり・環境・地域・景観・文化 | 地域の植物、自然、環境を健全に育成し、未来に伝えられるよう調査研究、データ集積、及び公開を行う。                      |